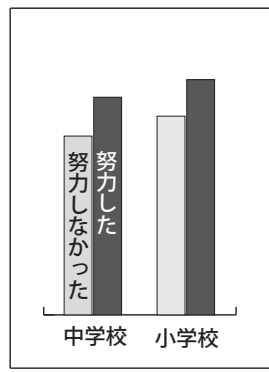


合も高く、達成感、成就感を感じながら生活をしている様子がうかがえます。学力調査と質問紙調査との回答結果をクロス集計すると、各教科の調査を最後まで解こうと努力した児童・生徒の正答率が、努力しなかった児童・生徒の正答率よりも15〜20ポイント程度高くなっています。

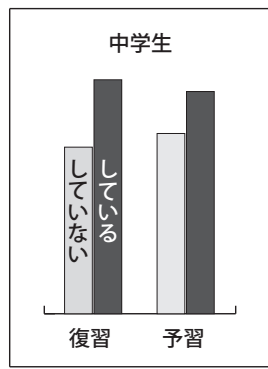


この結果からも、最後まで努力する態度を身に付けていくことが、学力の伸長につながると思います。

一方で、「自分には、よいところがあると思う」という項目での肯定的な割合は全国のものより低く、自尊心が低いというのが、引き続き課題としてあげられます。昨年度低かった「将来の夢や目標を持っている」という項目については、小学生で高まってきており、キャリア意識が高揚してきていることがうかが

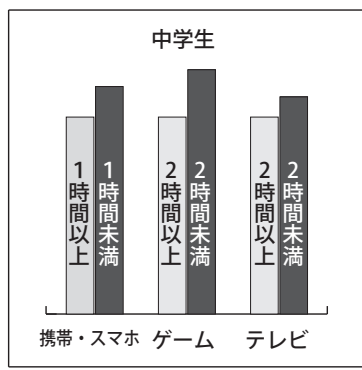
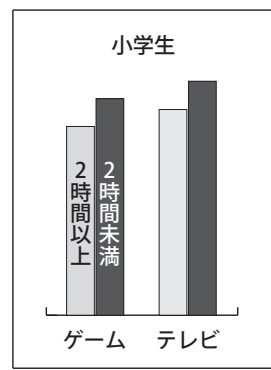
えます。
▼家庭での生活習慣、学習習慣が、学力に影響を与えています

「家で、自分で計画を立てて勉強している」「家で、予習・復習をしている」という項目では肯定的な割合が低く、宿題などの与えられた課題には取り組むが、自発的に学習しようとする態度に課題があります。予習・復習をしている生徒とそうでない生徒との各教科の正答率には、3〜5ポイントの差がみられ、予習・復習をすることが、学力の向上につながっていることがうかがえます。



また、テレビの視聴やゲームを2時間以上している児童・生徒と2時間未満の児童・生徒の正答率、携帯・スマホの使用が1時間以上の生徒と1時間未満の生徒の正答率について、いずれも5ポイント程度の差

がみられます。
引き続き、学校、家庭がしっかりと連携して、家庭での生活習慣、学習習慣改善の取り組みを進めていく必要があります。



今後の取り組み

本調査の結果を受け、各学校では、個々の児童、生徒の実態と課題、学年全体の傾向と課題を分析し、日々の授業などで課題解決を図るよう取り組みを進めています。また、調査対象の学年だけの課題ではなく学校全体の課題であるところから、全学年での実践につ

なげています。

学習面では、小学校、中学校とも、「課題把握」↓「自力解決」↓「集団解決」↓「価値の共有」↓「振り返り」という授業展開の中で、言語活動の充実、個に応じた支援の充実を図っています。このような学習を丁寧に積み重ねることで、「学ぶ意欲」「基礎的・基本的な学力」「思考力、判断力、表現力」をしっかりと身に付けさせていきます。

また、生活面では「凡事徹底」のスローガンを掲げ、「あいさつ・返事・くつそろえ」の徹底を図っており、かなり定着してきています。

各家庭では、今後とも、基本的な生活習慣の定着、家庭での学習習慣の定着、並びに健康な心と体づくりを、学校や地域と連携しながら進めていただきたいと思えます。そして、

●**確かな学力をつけた子ども**
●**豊かな人間性を身につけた子ども**

●**健康で元気な子ども**
を、町民一体となって育てていきたいと思います。

平成27年第11回教育委員会 開催

11月6日に第11回教育委員会を開き、次の案件などについて協議されました。

- ・日野町史編さん室設置規則について
- ・日野町教育委員会事務局の組織に関する規則の一部改正について

11月6日付で「日野町史編さん室」が企画政策課から教育委員会事務局へ所管替えとなるため、設置規則制定と課の所掌事務の追加が必要となりました。

- ・日野町立学校職員の自家用車の公務使用に関する取扱要項の一部改正について

同一用務、同一目的に旅行するなどの日野町立学校

の職員があるときは、同乗を許可することができるなどの改正です。

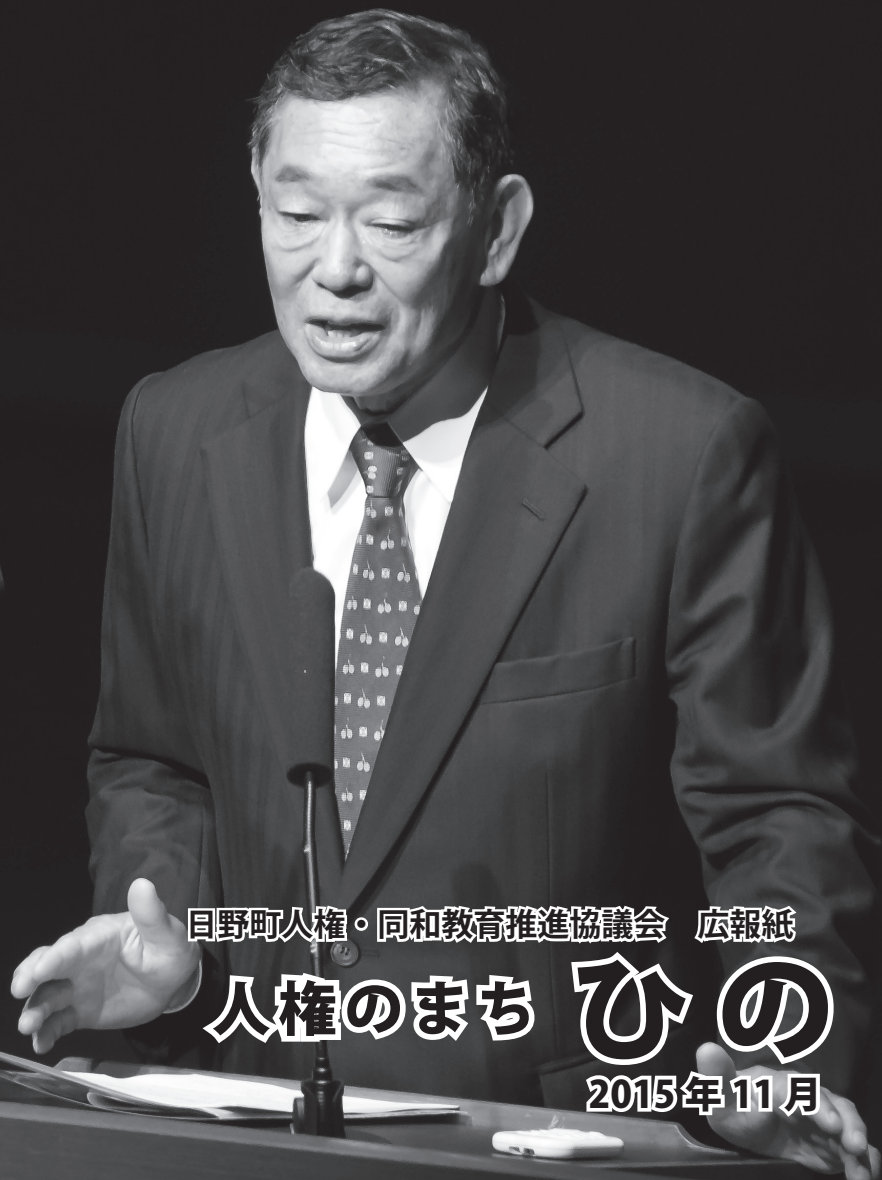
- ・ひのっこ保育所運営規定の一部改定について

土曜日について、利用者がいない場合は開所しないことができる旨を追加しました。

《次回の予定》

日時：平成27年12月4日（金）午後1時30分～
場所：役場第1会議室

※会議は公開しています。お気軽におでかけください。



目野町人権・同和教育推進協議会 広報紙

人権のまち ひの

2015年11月

大事なものは
孤立しないこと
そして、家族のために生きること

河野義行さん（人権啓発講演会）

▼人権啓発講演会および

第40回日野町人権・同和教育研究集会

【人権啓発講演会】

演題…『家族の絆』と「松本サリン事件を乗り越えて」

講師…河野義行さん（NPO法人「リカバリー・サポート・センター」顧問）

【研究集会】

研究主題…

『お互いを大切にしたい暮らしやすい地域社会の実現を目指して』と助け上手、助けられ上手になろうと報告／報告者…

① 爽やかで、温かなふれあいのまちづくり／

中原 明さん（黒坂地区コミュニティ推進協議会長）

② 互いに支える地域づくり

と地域おこし協力隊として日野町に携わって／

石村勇人さん（日野町地域おこし協力隊員）

▼人権啓発講演会

事件発生、そして冤罪疑惑・報道被害を受けて

10月2日、町文化セン

ターで人権啓発講演会および第40回日野町人権・同和教育研究集会が開かれました。

同講演会では、松本サリン事件被害者の河野義行さんが、同事件で経験した冤罪被害・報道被害、そしてそれを家族のきずなで乗り越えてきた体験談を紹介

しました。

松本サリン事件は、1994年6月27日、長野県松本市で発生。オウム真理教により神経ガスのサリンが散布され、多くの死傷者を出しました。この事件で、河野さんは第一通報者となりました。

河野さんは「深夜、外でカタカタと音がして白い煙のようなものが立ったと思ったら、庭先で飼っていた犬が倒れていました。その後、家に戻ると妻